

## 令和3年度 文学部国際教育学科 一般選抜（中期日程）講評

問題は、英文読解問題と英語・日本語での表現力をみる問題から構成されている。読解問題では、的確に英文の内容を把握できるか、内容に関して日本語で要約できるか、英文の主旨を踏まえて自分の意見を英語で論理的に展開できるか、をみている。

### 出題意図

21世紀に求められている能力やそれらを養成する教育に関する英文記事を題材に、英文の内容を正確に読み解いた上で、それを日本語で要約する力、さらに自分の主張を英語で論理的に表現する力をみている。国際教育学科の受験生には英語と日本語で正確に読み書きする能力が求められているが、21世紀の諸課題に対応する能力とは何か、それらを養成する教育はどうあるべきか、従来の教育ではなぜ不十分なのか等を考えてもらいたいという意図で出題した。

### 評価のポイント(長文問題)

問7 本文内容の要点を正確に読み取り、それを日本語で簡潔に表現する力をみている。現在の子どもたちに何を教えるべきかとその理由を含めて筆者の考えを説明しなさいという問題文の指示に従って、21世紀に直面する課題や、それらに対応するための教育の方法及び内容を説明する必要がある。また、従来の教育では不十分な点にも言及したい。

問8 子どもの幸福を増進するためにどのような教育を行うかについて、説得力のある根拠や具体例を示しながら自分の主張を論理的に説明できるかをみた。本文に例示されているような21世紀という時代の背景や課題の特徴などを踏まえた上で、それらに対応する教育の方法や内容に関して自分の主張を具体例を挙げながら、論理的に展開することが求められている。

### 答案の傾向

問1 概ね正解を選ぶことができていた。

問2 7割程の受験生が正解を選ぶことができた。

問3 下線部の意味するところを説明できればよい問題だが、さらに文意を理解した上で、その含意を正解に捉えた解答も少ないが見られた。文脈に沿わず、単にイメージで答えているものもあった。

問4 正答率は低かった。

問5 本文の趣旨が正しく捉えられておらず、junk food からイメージを飛躍させた説明も散見された。文脈に即して適切に説明している解答は少なかった。

問6 問題文に「単語一語を入れなさい」と書いてあるにもかかわらず、二語で答えたケースが多かった。設問の指示はきちんと読んでほしい。

問7 概ね全体の文意は理解できているものが多かったが、現代社会で必要とされるスキルと子どもの幸福に関してその心身の健康を重視する教育の両方に言及している解答が少なかった。また、人工知能の発達ということに説明を割きすぎて、より一般化した課題の説明ができていなかったり、従来の教育の不十分さに対する指摘も少なかった。

問8 解答文の出来が両極端で、点差が大きく開いた。質問の意図が理解できても、文章が論理的でなかったり、理由が述べられていなかったり、文のつながり等構成ができていない解答からは、英文を書くことに慣れていない印象を受けた。